

人事／採用担当者に聞く

わが社の採用活動の今

ともに働く「人財」を
女性も活躍できる職場に

■PCの設計施工を母体に

安部日鋼工業は日本初のプレストレスト・コンクリート(PPC)タンクを施工し、昨年創業70周年を迎えた総合建設業です。PPCタンクの施工数・PCまぐらぎの製造量はナンバーワンと自負しています。この二つのナンバーワンを特色にした提案型の営業と仕事を精力的に行っており、その技術力を高く評価していただいています。

青山 和也さん

本部長
管理課長
人事部
総務部長

■コロナ禍での業務継続

る地元の支店・本社等で業務を行っています。全国規模での業務と、地域に根差した社員一人ひとりの生活とこの二つの命題を両立すべく、さまざまな取組みを行っています。

会社全体の勤務体制の向上と情報システム推進の観点から、昨年からは現場の施工管理・工場勤務者を中心にiPadを貸与し、Web会議の導入・会議資料の共有(ペーパーレス化)などを進めていました。その

った意味では、コロナ禍でもそれぞれの拠点で柔軟に対処できたとは思っています。

ただ、メイン業務は現場での施工管理や製造ですので、こうした対応が全ての問題を解決するわけではありません。今後は現場部門の業務効率向上が大きな課題となると考えています。

一方で新入社員は岐阜本社での入社式や研修、レクリエーションなどが行えず、配属先によっては入社が難しい状況もありました。このため、新入社員に向けてはICT環境を整え、一人ひとりに課題を与え、ともに、部署ごとのWeb会議や質問対応等で「感染しないこと」も仕事のひとつと、モチベーションを維持できるようバックアップしました。

■採用活動と女性の活躍

これまでの学校関係者との人脈づくり、企業との連携や共同研究など、人とのつながりを重視してきましたので、21年度卒の採用は例年に比べると出足の鈍さはありません。

■達成感に夢を

当社は土木施工管理者を中心に人材を募集していますが、分野や理系・文系で門戸を狭めるつもりはありません。施工管理とは、きちんと計画を立てて、人とモノとお金を管理することが重要です。ですから大きなものを皆で協力して作り上げる、その達成感に夢を持つ方々に来ていただきたいですね。

現在就職活動中の学生さんは先行きの見えない中で未知の就職活動をされていると思いますが、少しでも建設業に興味を持っていれば、まず気軽にお声掛けください。

今の悩みを一緒に考え、不安をともに乗り越え、そんな機会を作っていければと思います。

遠方からの参加広がる

“明るさ”など社風感じて

■在宅以降もデジタル化奏功

新型コロナウイルスの感染拡大により、緊急事態宣言が発令されてから、月島機械では在宅勤務態勢に原則移行し、宣言解除後からはいわゆる産業機械を

本部長
管理課長
人事部
総務部長

太田 なぎささん

人事部グループ
サブリーダー

製造する室蘭工場の通常稼働を、在宅運用を徐々に緩やかにしていき、現在は週2日の出勤体制となっています。在職中は、会議もすべてWebで行い、業務も電子システムでの作業となっています。

本社は中央区勝どきで東京

■Web採用に全面切替え

採用活動については、経営陣の判断で3月にはWeb採用に全面切替えいたしました。今や民間企業の多くが対面からWebに切り替えています。決断した当時はまだ数少なく、うまくスタートダッシュが切れたという声も聞かれました。3月中旬にはWeb説明会を開き、4月末までの最終面接までWebで行い、これから様子を見ながら高校生採用に取りかかるところです。

当社としてWeb採用自体初めてでしたが、学校の一斉休校が決まった頃から情報収集と対応に追われたり、Web会議システムのライセンスを急いで押さえたりと、とにかく大変でした。おかげさまでWeb説明会には、1日開催にも関わらず100人以上の方々に集まっています。

採用側として今回良かったのは、遠方でもなかなかお会いできていなかった大学等からの参加があったことです。当社は、水環境事業や産業事業の分野でプリント建設・機器製造・各種サービスを提供しているメーカーです。そうした水処理や環境といった仕事に魅力を感じていただければ、説明会等のために東京へ出ていくほどではなかった層が気軽に参加できるのではないのでしょうか。

■Web、対面の良さを感じて育成

これから、通称は6月から実施している室蘭工場での高校生向け応募書類交付と選考が10月以降の倒しになりました。応募前職場見学も夏休み期間と学事日程に変更があることから状況をみにつけて対応しまいります。

新人育成については当然、在宅勤務からスタートしています。から、オンラインアシスタント研修や各部紹介など、研修はWebで実施しています。皆さん、ITには慣れていますし、双方向性があるのが相性がいいようです。

また、学生側からは、当社の印象について「話しやすい」「聞いてくれる」「だとか、『優しい雰囲気(明るさ)を感じた』といった声をいただいています。画面を通す格好でも、会社ごとにカラーの違いが伝わるように、その意味で伝統にふさわしいワークの良さ、人事担当のフランクなフリと言っているように、当社が社風を感じていただけていると思

Challenge
to change.

チャレンジの中に、チェンジがある。

クリモトは2019年2月で創立110周年。

挑戦と変革の第一歩として、企業ロゴをリニューアルしました。

頭文字の「K」は3つの「I」(Infrastructure=インフラ・

Industrial facility=産業設備・Innovation=イノベーション)を

意味する矢が、境界線を越えていく姿をイメージ。

新しいチャレンジで、夢ある未来にチェンジしていく。

これからのクリモトにご期待ください。

KURIMOTO

株式会社 栗本鐵工所
http://www.kurimoto.co.jp/

nihon genryo

NIHON GENRYO
80
ANNIVERSARY
おかげさまで80周年“0”から“∞(無限大)”
ものづくりのおもしろさ

https://www.genryo.co.jp

日本原料株式会社

〒210-0005 神奈川県川崎市川崎区東田町1-2 TEL.044-222-5555 FAX.044-222-5556



就職活動応援特集

東京都下水道サービス



東京都下水道サービス(TGS)は今年4月から、東京大学に寄付講座「下水道システムイノベーション講座」を設置した。講座では、バイオマスエネルギーや有機物の効率的な回収・利用システムの開発、超省エネルギー型下水道システム・技術に関する調査研究、情報技術を活用した大規模災害の防災・減災技術の調査研究を行っていくとともに下水道事業の未来を担う人材を育成する。これらの調査・研究を通じて下水道事業者や民間企業などの連携拠点となることを目指すほか、Society 5.0社会に向けた下水道システムのイノベーション、SDGs達成に寄与する下水道分野の国際展開に貢献していく。6月24日には、渡辺志津男社長(当時)らが、TGS本社内の会議室で専門紙の取材に応じた。寄付講座を担当するのは滝沢智特任教授(都市工学専攻教授)、加藤裕之特任准教授、野村洋平特任助教の3人。寄付講座に関連する各者のコメントは次の通り。

滝沢 特任教授



水、汚泥、エネルギーや空間を有効に活用し、CO₂排出量を削減するとともに、施設管理に関する膨大な情報を情報技術等で活用していくことが求められている。本講座では将来においても持続可能な下水道システムの創出することを目的としている。また本講座の研究活動等を通じて将来の下水道システムの維持管理に貢献するような若い人材を育成する。

加藤 特任准教授



産官学と市民をつなぎ新しいイノベーションを起こしたい。また下水道に限らず、農業や福祉など分野を越えたつながりを実現したい。また、教育機関として世代をつないでいきたい。若い人に下水道に魅力を感じて、下水道界に入ってくれるように注力したい。

野村 特任助教



下水道に眠っているお宝、シーズ発掘のための研究拠点となりたい。また、教育機関としてグローバルとローカルの視点を併せ持つイノベティブな人材育成の拠点となること、産官学、市民とつながる連携拠点となることを目指したい。

渡辺 社長(当時)



(寄付講座が)強力な布陣で実施されることに感謝申し上げるとともに、大きな期待を寄せている。本講座が5年間を設置期間としてスタートすることで、TGSとしては未来を担う若い研究者に下水道事業を学ぶ機会を提供し、日本の下水道事業のさらなる発展に貢献していきたい。本研究室との共同研究を推進しながら、実務面でも積極的に連携していきたい。

メタウォーター



経営企画本部人事総務企画室
人材開発部主 梶原 武昭さん

■会社紹介・採用について
2008年に発足したメタウォーターは、水環境分野では国内初となる機械一体型の会社です。

■社員教育(主に新入社員について)
例年、新入社員は1カ月にわたる集合研修を受け、研修期間中は、3〜4人で1部屋の共同生活を行い、同期の絆やコミュニケーション、仲間意識を醸成します。2カ月目以降は所属先により、すべてOJTになること

■学生へのメッセージ
近年、大規模な災害が続く、下水道の重要性がクローズアップされる機会が増え、学生から水環境に貢献したい「実際に被災して環境分野を志した」という声が増えました。当社は、そうした思いを持つ方々に、当社が持つ技術やノウハウを継承し、一緒に水環境インフラを守る気持ちで、これからも採用活動に取り組みたいと考えています。

■長く働ける企業に
採用選考で大切にしていることの1つは、長く働いてもらうためのマッチングです。新卒採用

■学生へのメッセージ
近年、大規模な災害が続く、下水道の重要性がクローズアップされる機会が増え、学生から水環境に貢献したい「実際に被災して環境分野を志した」という声が増えました。当社は、そうした思いを持つ方々に、当社が持つ技術やノウハウを継承し、一緒に水環境インフラを守る気持ちで、これからも採用活動に取り組みたいと考えています。

水を守る仲間を増やす 思いに応える社員教育

ユニケーションを取ることを重視していましたが、今年の方針転換し、会社説明会や面接、面接を全てオンラインで実施しました。直接会えないことで難しさを感じる一方、遠方の学生との接点が増えたり、スケジュール調整が容易になるなどメリットも非常に多く、今後も採用活動でオンラインを活用していきたいと考えています。

■学生へのメッセージ
近年、大規模な災害が続く、下水道の重要性がクローズアップされる機会が増え、学生から水環境に貢献したい「実際に被災して環境分野を志した」という声が増えました。当社は、そうした思いを持つ方々に、当社が持つ技術やノウハウを継承し、一緒に水環境インフラを守る気持ちで、これからも採用活動に取り組みたいと考えています。

■学生へのメッセージ
近年、大規模な災害が続く、下水道の重要性がクローズアップされる機会が増え、学生から水環境に貢献したい「実際に被災して環境分野を志した」という声が増えました。当社は、そうした思いを持つ方々に、当社が持つ技術やノウハウを継承し、一緒に水環境インフラを守る気持ちで、これからも採用活動に取り組みたいと考えています。

日本水工設計

話し合う、教え合う文化 全国の人材が地域の力に

■教え合う風土

日本水工設計は1968年の創業から水の総合コンサルタントとして52年の歴史を歩んできました。コンサルタントは相談役として地域に寄り添い、自治体とともにインフラの全体像を描いていくことが役割です。調査・計画・設計や事業のマネジメントを通して地域のニーズに合った水インフラを構築し、まちづくりを支えています。当社の伝統であり特長は、話し合う、教え合う文化です。一線級の土木専門技術者

総務 人事部 小野 裕志さん
総務人事課採用担当



が集まる会社ですが、多くの社員は入社時に下水道を専門としており、現場の仕事を通じて知見を磨いてきました。さまざまな分野から集まった技術者がそれぞれの得意分野で活躍する文化だと感じます。

■コロナ禍の採用選考と新入社員の育成
コロナ禍においても地域の営みを支える下水道の現場は動いています。感染防止の観点から当社でも全社員を3日の出勤体制とし、時差出勤を行っています。多くの企業と同様にリモートによる業務環境やWeb会議のシステムをさらに充実させるなど、業務が滞らぬよう工夫を図りました。家族が通う学校等が休校となり在宅が必要な社員についても、業務の調整に努め、休暇等を取っていただく体制としました。

■長く働ける企業に
採用選考で大切にしていることの1つは、長く働いてもらうためのマッチングです。新卒採用

■学生へのメッセージ
近年、大規模な災害が続く、下水道の重要性がクローズアップされる機会が増え、学生から水環境に貢献したい「実際に被災して環境分野を志した」という声が増えました。当社は、そうした思いを持つ方々に、当社が持つ技術やノウハウを継承し、一緒に水環境インフラを守る気持ちで、これからも採用活動に取り組みたいと考えています。

■学生へのメッセージ
近年、大規模な災害が続く、下水道の重要性がクローズアップされる機会が増え、学生から水環境に貢献したい「実際に被災して環境分野を志した」という声が増えました。当社は、そうした思いを持つ方々に、当社が持つ技術やノウハウを継承し、一緒に水環境インフラを守る気持ちで、これからも採用活動に取り組みたいと考えています。

■学生へのメッセージ
近年、大規模な災害が続く、下水道の重要性がクローズアップされる機会が増え、学生から水環境に貢献したい「実際に被災して環境分野を志した」という声が増えました。当社は、そうした思いを持つ方々に、当社が持つ技術やノウハウを継承し、一緒に水環境インフラを守る気持ちで、これからも採用活動に取り組みたいと考えています。

■学生へのメッセージ
近年、大規模な災害が続く、下水道の重要性がクローズアップされる機会が増え、学生から水環境に貢献したい「実際に被災して環境分野を志した」という声が増えました。当社は、そうした思いを持つ方々に、当社が持つ技術やノウハウを継承し、一緒に水環境インフラを守る気持ちで、これからも採用活動に取り組みたいと考えています。

■学生へのメッセージ
近年、大規模な災害が続く、下水道の重要性がクローズアップされる機会が増え、学生から水環境に貢献したい「実際に被災して環境分野を志した」という声が増えました。当社は、そうした思いを持つ方々に、当社が持つ技術やノウハウを継承し、一緒に水環境インフラを守る気持ちで、これからも採用活動に取り組みたいと考えています。

■学生へのメッセージ
近年、大規模な災害が続く、下水道の重要性がクローズアップされる機会が増え、学生から水環境に貢献したい「実際に被災して環境分野を志した」という声が増えました。当社は、そうした思いを持つ方々に、当社が持つ技術やノウハウを継承し、一緒に水環境インフラを守る気持ちで、これからも採用活動に取り組みたいと考えています。

■学生へのメッセージ
近年、大規模な災害が続く、下水道の重要性がクローズアップされる機会が増え、学生から水環境に貢献したい「実際に被災して環境分野を志した」という声が増えました。当社は、そうした思いを持つ方々に、当社が持つ技術やノウハウを継承し、一緒に水環境インフラを守る気持ちで、これからも採用活動に取り組みたいと考えています。

■学生へのメッセージ
近年、大規模な災害が続く、下水道の重要性がクローズアップされる機会が増え、学生から水環境に貢献したい「実際に被災して環境分野を志した」という声が増えました。当社は、そうした思いを持つ方々に、当社が持つ技術やノウハウを継承し、一緒に水環境インフラを守る気持ちで、これからも採用活動に取り組みたいと考えています。

■学生へのメッセージ
近年、大規模な災害が続く、下水道の重要性がクローズアップされる機会が増え、学生から水環境に貢献したい「実際に被災して環境分野を志した」という声が増えました。当社は、そうした思いを持つ方々に、当社が持つ技術やノウハウを継承し、一緒に水環境インフラを守る気持ちで、これからも採用活動に取り組みたいと考えています。

■学生へのメッセージ
近年、大規模な災害が続く、下水道の重要性がクローズアップされる機会が増え、学生から水環境に貢献したい「実際に被災して環境分野を志した」という声が増えました。当社は、そうした思いを持つ方々に、当社が持つ技術やノウハウを継承し、一緒に水環境インフラを守る気持ちで、これからも採用活動に取り組みたいと考えています。



プレストレストコンクリート
(配水池・橋梁・枕木等)

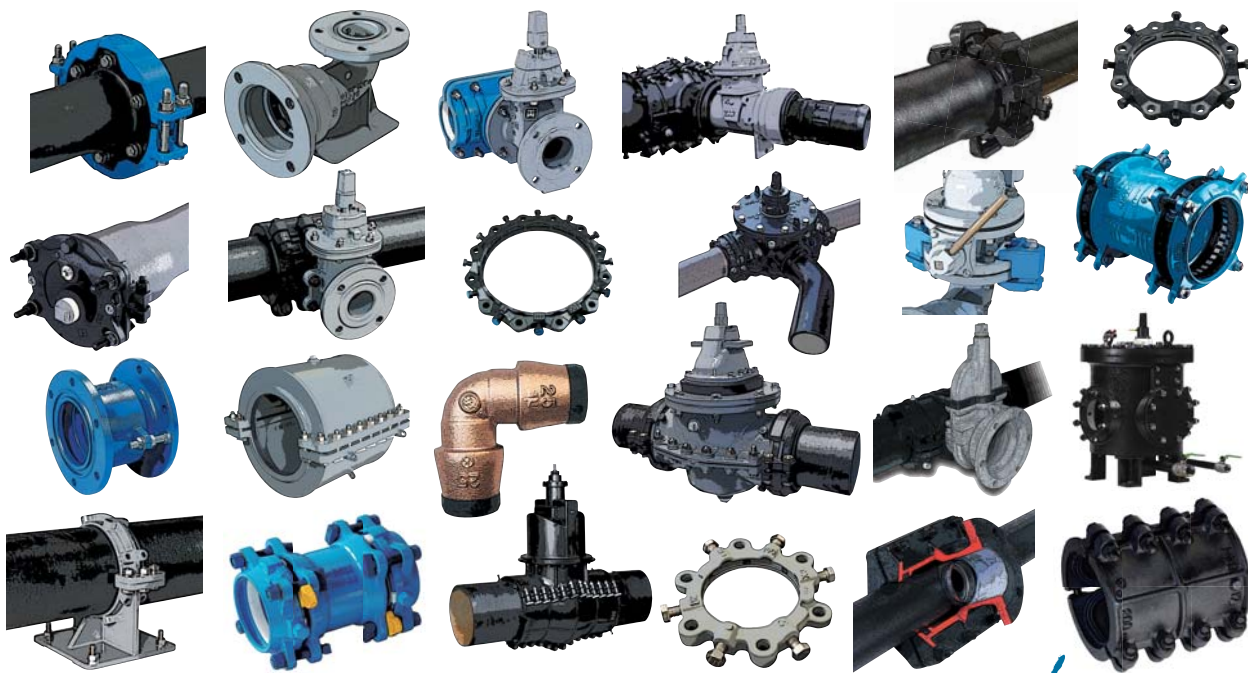


株式会社 安部日鋼工業



岐阜本社 / 岐阜市六条大溝3丁目13番3号
支店 / 東北・東京・中部・大阪・九州
東京本社 / 東京都新宿区下落合2丁目3番18号
工場 / 須賀川・岐阜・岐阜本巣・滋賀・大牟田

いま、ライフラインを守ることは 未来を守ること。この製品たちの役目です。



水道管路機器のバイオニア、断水水の
大成機工株式会社
www.taiseikiko.com

本社 / 大阪市北区梅田1-1-3-2700 (大阪駅前第三ビル27階) TEL: 06-6344-7771 (大代表) FAX: 06-6344-7941